

「審判の日？」

一つ前のメモで「第一サイト4号機」の件で、大事な訂正です。

「4号機で火災」なら、何かが燃えたと思いましたが、「爆発した。原子炉建屋の北西部に大きな穴が開いた」とのことです。

1/2/3号機と同じく、水素が爆発したのでしょうか。この穴の箇所は、原子炉建屋での万一の事故の際に破れて良いように薄く設計されています。原子炉建屋の最上階に充満した水素が、(1/3号機のような大爆発でなく)小規模の爆発だったので、最上階全部が吹き飛んだのではなくて、この弱い箇所を(想定通りに)破った、ということです。

4号機の燃料は、2010年12月の原子炉停止後に、今回の定期検査での工事の為に、全て燃料プールに移動していました。だから余熱が比較的大きいのです。

1)「燃料プールの温度が85度」という報道が正しければ、燃料プールの底など(の溶接箇所)が地震で破損し、水が流出して、水位が下がり、燃料が水から露出して破損し、高温になり、水素が発生したのだと思います。

2)もう一つの可能性は、85度と言う測定値が間違っているということで、この場合に考えられるのは、水が100度になり、蒸発して、水位が下がっている、ということです。あるいは、両方が起きているかも知れません。

いずれの場合でも、水位が下がり、燃料が水から露出して破損し、高温になり、水素が発生して爆発した、というシナリオになります。従って、燃料プールに給水する必要があるわけです。注水に成功すれば大丈夫です。昨夜のニュースでは「注水に成功した」とのことでしたが、誤報でした。穴が開いているのは燃料プールの反対側で、注水するのが非常に難しい場所です。しかも、500トン位の水が必要です。

私の友人の計算では、まだ水が残っていると推定されますが、これが全部蒸発したら、燃料は間違いなく全部溶融するので、非常に重大な事態になります。というのも、1/2/3号機では圧力容器・格納容器・原子炉建屋が一応機能していました。しかし、4号機の燃料は直接外気に接しているからです。(ここまでを、16日のフジTVで話しました。)

注水に失敗すれば、チャイナシンドロームです。大量の放射能が飛散します。東京は大丈夫ですが、福島には数百年は人が住めないでしょう。後、数日が運命の分かれ目です。日本人に対する審判の時です。皆様も神と仏に祈ってください。

(2011-3-16 昼。)

